

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表: 2024年 3月 30日

事業所名 こどもプラス宇都宮教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		・常に適切であると感じる	
	2	職員の配置数は適切である	9		・当日の利用人数に応じて適切な職員配置をしている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	1	・伝わりやすいよう写真やマークで示している。 ・同線を考えつつ構造化を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		・気を配り、室温管理と換気を常に行っている。 ・終了後、環境を整え消毒し清潔を保っている。 ・整理整頓し、活動しやすいよう広い空間となっている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		・定期的に会議を行い情報共有し、話し合い改善に努めている。会議以外でもささいなことでも情報共有し、予防や改善に努めている。 ・話し合い、試行錯誤している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		・保護者と連絡をこまめに取り、聞き取りを行っている。問題提起があった場合は、真摯に受け止め改善に努めている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		・毎年ホームページにて公表し、会議等の議題に上げ話し合いを行っている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	1	・外部の活動評価の機会があり、結果を踏まえて改善を行っている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		・研修の機会を設けて質の向上に努めている。	
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		・毎月のケース会議を行い検討し、保護者のニーズを反映しながら課題の見直しを行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		・状況把握をしつつ適応行動についてツールを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9		・毎月の支援会議を行い検討し、課題に合わせた支援の見直しを行っている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9		・支援内容を共有して支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		・活動内容やイベント内容が偏らないよう全スタッフで検討・立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		・月によって変えている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9		・利用児の状況に合わせて作成している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	9		・注意点を共有し支援にあたっている。	
	18	9		・全員での打ち合わせは難しいが、気付いた点等は全員に共有できるようにしている。	
	19	9		・毎日記録をつけ支援に繋げている。	
	20	9		・しっかりと行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	9		・中心となる職員が代表として参加している。	
	22	9		・相談支援員や場合によっては園との連携を行っている。	
	23				
	24				
	25	8	1	・園や通所先・保護者等を含めて支援についての意見の交換や情報の共有を行っている。	
	26	9		・園や通所先・保護者等を含めて支援についての意見の交換や情報の共有を行っている。	
	27	8	1	・研修等の機会があれば積極的に受講している。	
	28	6	3	・公園等の外活動で触れ合う機会が多い。	地域イベントに積極的に参加できる機会を増やしていきたい。
	29	4	5	・難しい部分もあるが、積極的に参加したいと思う。	・地域との連携を通してより良い支援に役立てていきたい。
	30	9		・お迎え時やLINEや連絡帳を通じて細目に保護者と連絡を取り共通理解に努めている。	
31	9		・希望があった保護者に対して面談時等、ペアレントトレーニング等の支援を行っている。	・保護者に対してさらに活用してもらえよう日頃から助言等を行っていく。	
32	9		・利用契約時に十分に説明を行っている。		
33	9		・モニタリングを通して支援内容について保護者の意向や本人の状況にあったものを作成し、同意をいただいている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		・送迎時や電話、LINE、面談等でその都度対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9		・ニーズに合わせた情報提供の場を開いていきたいと努力している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		・相談等があった際はスタッフで共有し意見を出し合いつつ、早急に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		・毎月プラスだよりを発行し活動内容や様子等を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9		・流出等がないよう厳重に管理には徹底している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		・対話を大切にし力を入れている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	3	・難しい部分もあるが、積極的に行いたいと思う。	・地域住民を招いての行事等はできていないが地域に事業所を知ってもらうための取り組み等に努めていきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9		・スタッフ間で内容等を定期的に確認している。 ・緊急時の対応について契約時に周知している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		・定期的に避難訓練を行い非常時に備えている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9		・服薬や発作等状況について都度に合わせ情報や対応を周知徹底している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		・おやつ購入時・準備時・提供時に十分注意し提供している。 ・アレルギー児には専用皿を使用し、提供間違いを防止している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		・その都度共有しまとめている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		・虐待防止研修参加や定期的な会議を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9		・利用契約時等で身体拘束についての説明を十分に言いご理解を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。